

— 「能登半島地震」被害調査 速報報告 —

実施月日：H19.03.29

天 候：晴れ→曇り

1. 目的

- ①. 当社設計の構造物の被害状況点検。
- ②. そのほか被害状況の把握

2. 調査ルート・調査地点

別紙に示すとおりである。基本的には、震源・余震域に面した地域の国道・主要道沿いをを周回した。

3. 被害状況調査結果

3.1 当社設計構造物

状況を目視観察した限りでは大きな亀裂、変状はないようである。

- ①富来トンネル(輪島市富木町)
- ②赤神トンネル(輪島市門前町)
- ③熊野トンネル(輪島市熊野)
- ④太田原トンネル(能登町)
- ⑤市ノ瀬跨線橋(輪島市)
- ⑥豆堂川砂防堰堤(輪島市門前町)

3.2 そのほか調査対象

各地点で記録した被害・変状概要を、以下に記す。

- ①富来町笹波-----ブロック塀の倒壊、屋根瓦の崩落。
- ②富来町関野鼻-----斜面崩壊、家屋倒壊
- ③門前町赤神 1-----岩盤斜面崩落、抜け落ち、国道 249 号・海岸までの落石
- ④門前町赤神 2-----岩盤斜面崩落・落石、吹付けコンクリート剥落。
- ⑤門前町道下集落(家屋)----変状、倒壊、屋根瓦崩落、ブロック塀倒壊
- ⑥門前町道下(構造物)-----道路面変状、橋台と道路面の段差、マンホールの浮き上がり、河川堤防の変状など。
- ⑦輪島市内-----家屋変状、倒壊、鳥居・塀の倒壊
- ⑧横田 IC-----谷埋め盛土の崩落
- ⑨広岡・熊野斜面変状-----崖錐堆積物、風化岩の崩落(小規模なものが多い)

3.3 七尾城石垣

石垣の一部が、延長約 3m、幅 2m で馬蹄形状に崩落、背面にクラックが発生し幅 10cm で開口している。

4. 結果総括

- ・ 深刻な被害の範囲は、震源に近い半島西部の沖積層分布域(富来町、門前町、輪島市内)に集中している。家屋等の建造物の被害が大きい。
- ・ 橋梁・トンネルは、軽微なもののみで深刻な被害は生じていない。
- ・ 盛土部の被害は、谷埋め盛土、河川の護岸など軟弱地盤で発生している。
- ・ 切土部の被害は、道路切土の露岩部で抜け落ち、崩落がある。中越地震のような、のり枠工の破損・崩落は認められない。

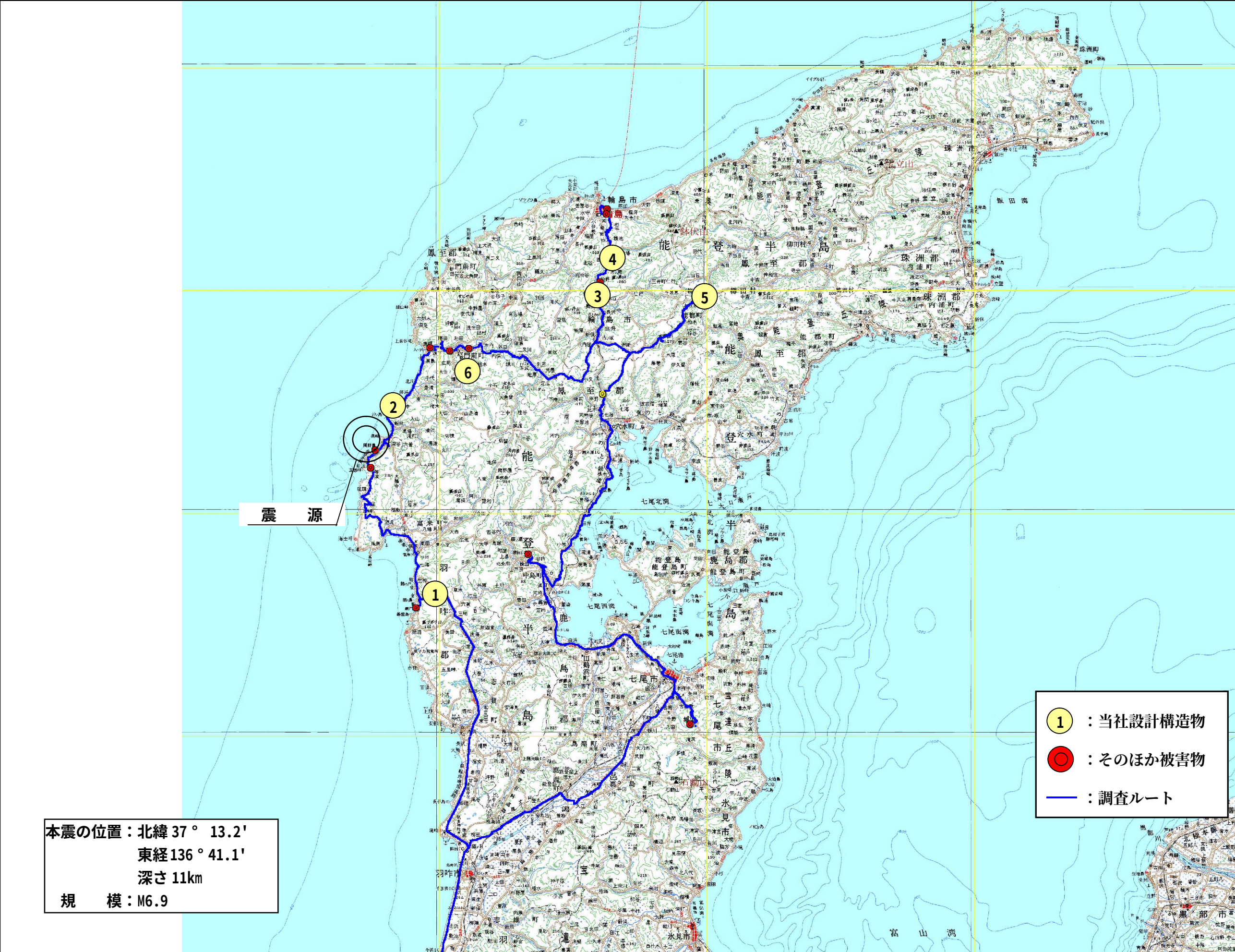


図 3.1 調査ルート(1/300,000)